

野口九皋 のくわう きうかう 新聞人、漢詩人。安政三年阿波國生れ、大正十一年二月二十日没（八五—一九三）。本名英夫。別號南鳴。同人社に入り、中村敏宇の學友。招かれて『山梨日日新聞』主筆となり、明治十五年社長。同志とハ愛社を設立して自由民権説を唱へ、更に山梨を憲保守黨を組織した。のち山梨政界に活躍。

